



好きやねん湖東

湖東地区

まちづくり情報誌

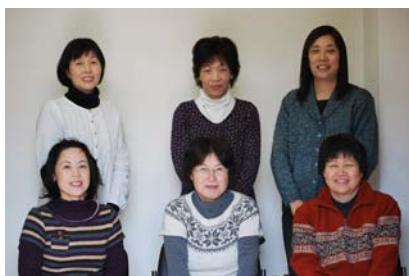
第67号

20歳

20歳の集い



集合写真提供：クワハワ・フォト・スタジオ



1月9日(日)湖東公民館にて、「20歳の集い」が開催され、新しく仲間入りした新成人が集まりました(〇)

まちづくり協議会では、実行委員会からの依頼を受けて、会場準備や軽食作りなどをボランティアのお母さん方と協力してお手伝いさせていただきました。

2011 「うさぎ年生まれの人、集まれ」



西堀 あや子 さん (84歳) 勝堂町
『命のある限り頑張りたいと思います』



中島 成郎 さん (72歳) 平松町
『神佛に好かれる人になりたい』



楠亀 道子 さん (84歳) 南菩提寺町
『健康で一年過ごせますように』



藤村 善信 さん (48歳) 中一色町
『今年も幸せになります』



松居 玲奈 さん (12歳) 小八木町
『ピアノをがんばりたいです!』



西堀 将人 さん (24歳) 横溝町
『今年も元気いっぱい仕事を頑張りたいです』



國松 香織 さん (24歳) 北菩提寺町
『何事も挑戦! 経験! 感謝。自分らしく、キラキラした人生を創りたい!』

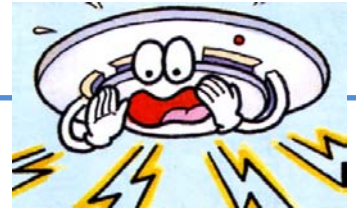


西村 猛司 さん (60歳) 平柳町
『今年は、私の年でもあり人生の節目です。ウサギのような大きな耳で情報をつかみ、亀のように一歩ずつ確実な歩みをしていきたいです。』



満田 早智子 さん (36歳) 中里町
『家族みんなが健康で過ごせますように』





※実際の警報器に顔や手はついていません



もう付けましたか？ 住宅用火災警報器

湖東地区を担当する私たち東近江市消防団の第6方面隊は、全員がこの町で暮らしています。同じ地区で生活する一員として、住民の皆さんとともに**安全・安心なまちづくり**を進めていきたいと思っています。

私たちがここ数年、管轄である愛知県消防署と一緒に力を入れているのが、**住宅用火災警報器**の普及活動です。毎月7日の夜、順番に自治会を回らせていただいているほか、ふるさとまつり、防災ひろばや各町の防災訓練などで、**男前の団員**(※注)が啓発に汗を流しています。

※注: 自己申告によるものであり、ご期待に添えない場合もあります。



▲啓発をする男前な団員たち (虫眼鏡でご確認ください)

今回はその際に警報器についてよく受ける質問と、その答えをご紹介します。

Q:なぜ家に付ける必要があるの？



A: 住宅火災による死者の多くは**逃げ遅れ**によるものです。

寝ているとき火事になったら、目がさめる前に煙で窒息

してしまうのです。警報器があればすぐに起こしてもらえます！

Q:火が出る可能性が高い場所に付ければいいの？



A: 実際どこから火が出るかはわかりません。煙はまず高い所に昇るので、

寝室や階段の天井に煙感知式の警報器があれば、どの部屋が火事になった場合でも知らせてくれます。すぐ頭の上で鳴るほうが起きやすいですもんね！

でも、できれば台所への取り付けもオススメです。

熱感知式ならサンマを焼いてもだいじょうぶ！

取り付けるのは ①寝室 ②階段の上

皆さんのお宅は必要な個数が付けられていますか？ **設置期限は今年の6月1日**

もし、まだだったら急いでネ！

今回のまとめ……ととのいました。「警報器」とかけて「カレンダー」と解く。

その心は、「どちらも火(日)を教えてくれる」でしょう！



ただいま 商い中！

植田 松受 (しょうじゅ) さん (横溝町)

今回紹介するのは、通称石松さんこと“植田石材工業所”の 植田 松受 さんです。

植田石材工業所は、松受さんの祖父の松之助さんが創業し、父の松三さんと「松」の漢字を受け継ぎ、松受さんで三代目となります。

松受さんの長男 (小学6年生) も、松聖(しょうき)君と名付け、「松」の漢字は次世代へと受け継がれています。

家業の石材店では、仕事を始めて28年。時代は変わり、石の研磨や字彫りは機械化が進み“右下の写真”は、磨りガラスの製作にも使われているサンドブラスト手法で、墓石の字彫りをしている場面です。

すっかりベテランの域に入った松受さんに仕事に対する想いを尋ねたところ、「人が簡単にできないことや難しい技術を考え出したい。また、オリジナリティーを大切に『ONLY ONE』の作品を造りたい」と創造性を追求する答えが返って来ました。

また、「石の魅力は、加工や磨き方によって全く違う表情に変わるところです」とも話されます。

なるほど、ゴツゴツ、ザラザラした表情の石も磨きをかけると、つるつる、すべすべの美しい石肌になりますよね。(うーん、私も磨けばもっと・・・かも)

松受さんのお宅の玄関横にある大きな郵便ポストは、なんと御影石製でした！さすがですね。

これからも素敵な作品を創り続けてください (Naomi A.)



植田 松受 さん



字彫りの様子

植田石材工業所

東近江市横溝町 1332 番地

TEL 0749-45-0405 FAX 0749-45-0455

この人を紹介

書道で活躍！ 岡村 典子 (のりこ) さん (中里町)

岡村 典子 さんは、八日市高校の二年生で書道部に在籍し日々練習に励んでいます。

書道は、幼稚園の年少から初めたということもあり、入部以来数々の賞を受賞しています。

今回、「第31回滋賀県高等学校総合文化祭書道の部」では、滋賀県で第1位となり来年の夏には県代表として全国大会が開催される福島県へ行きます。

「書くことは楽しいし、賞が取れたときはとてもうれしいです。昨年は滋賀県で5位でした。4位までが全国大会に行けますが行くことがかなわず、とてもくやしかったです。全国大会では、少しでも上に行くことを目標に頑張ります」と大舞台に向けて力が入っています。

将来は書道の先生？て尋ねたところ、「書道の先生とかは考えてないです。一生、書道が続けられたらいいなあ」と言われました。

「書の甲子園」の愛称で知られる「第19回国際高校生選抜書展」の入賞・入選作品が大阪市天王寺区の市立美術館で平成23年2月1日～6日まで展示されます。

彼女は、その大会でも「優作賞」を受賞し作品が展示されます。

機会がある方は一度のぞかれてみてはいかがでしょうか？

彼女のこれからの活躍がとても楽しみです♪(Piroko)



<編集・発行> 湖東地区まちづくり協議会 (事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地

東近江市 湖東支所内

TEL 45-3702 FAX 45-1570 IP 050-5801-3702

<http://members.e-omi.ne.jp/suki-koto/>

広報部ブログ <http://machikyo-koto.jugem.jp/>

<<お便りはこちらまで>> suki-koto@e-omi.ne.jp



今月のプレゼント！

「植田石材工業所」から、石製カレンダーを1名、石の置物を2名の方にプレゼントします。

ご希望の方は、下記の要領により応募してください。

<応募方法>

あなたの住所、氏名、電話番号と「希望の品」を記入の上、事務局まで、はがき、メールまたはFaxでお送り下さい。

締め切り： 2月15日 (火) 必着